

CSR推進ツールの活用方法

1. 本ツールの目的と位置づけ

(1) 目的

本ツールは、規模・業種を問わず日本のあらゆる企業が、企業の社会的責任（CSR）を視野に入れた活動を行うため、参考にする資料である。

なお、「企業の社会的責任（CSR）」の具体的な内容については国、地域によって考えが異なり、国際的な定義はないが、一般的には、企業活動において経済、環境、社会の側面を総合的に捉え、競争力の源泉とし、企業価値の向上につなげるものとされている。

(2) 位置づけ

- ①本ツールは、多くの企業がCSRに配慮しつつ取り組んでいる諸課題を、日本経団連の「企業行動憲章」と「実行の手引き」を参考として課題分野およびステークホルダーの二つの側面から整理し、参考事例を添付したもの。
- ②本ツールは、企業に自主的な取り組みを求めるものであり、各企業の理念、組織、風土、経営環境、事業戦略などに応じて、項目の選択や重点化を行うもので、全ての項目が同時に取り組まれることを示唆するものではない。
- ③経営トップは、CSRの推進が自らの役割であることを認識し、リーダーシップを発揮して実効ある取り組みを図る。

CSR推進ツールの位置づけ

